

## 活動の継続を確認

### 定期総会 事務局体制の充実図る

23年度定期総会が、30日開かれました(写真)。前年度の活動及び決算報告、新年度活動方針・予算案等全ての案件について執行部提案通りの採決です。有り難うございました。

今年度は、20年以上事務連絡員(書記・会計兼務)を続けてきた嘉陽由美子さんが勇退することになり、昨年度末から業務引き継ぎが進むという大きな転機となりました。これまでの活動継続を前提に事務連絡員の2人体制、書記・会計の役割分担が重要。併せて「居場所活動」の維持拡充には、父母の実務面での支援強化が欠かせない。総会での選任を前に「青少年未来育成部」役員の再編成も行われた。これまでの活動で、嘉陽さんの役割が如何に大きかったか、関係者全員が感じる交代劇です。長年ご苦労様でした。

なお、嘉陽さんは今後も特別評議員としてアドバイザー的役割を担います。よろしくお願いいたします。



## 事務局体制を強化

### 活動方針 予算など決める

新年度に向けての課題は、長年活動を支えてきた嘉陽さんに代わる新しい人材の確保、配置でした。その意味では事務連絡員制度を活用する形で、2人体制にして、人事面でも書記(小笹)会計(知念)で役割分担できた成果は大きい。今後の活動で、中心的な人材として、継承・発展をはかって欲しい、と考えます。併せて、居場所活動で新体制を支えるため「青少年未来育成部」

も、現役父母を中心に役員構成を一新しました。「総がかり」で子ども育成や高齢者支援など地域活性化をはかって欲しい、と思います。

### 新役員体制決まる

会長、副会長、評議員は留任です。会長・銘苅全郎(3班)副会長・田邊治通(6班)金城幸広(4班)書記・小笹睦美(3班)新任・事務連絡兼務)会計・知念美幸(7班)新任・事務連絡兼務・青少年未来育成部長代理)評議員・宮城徹(7班)青少年未来育成部長)宮城朝彦(4班)比嘉康

夫(4班)入仲秀政(5班)銘苅徳人(6班)上里翼(4班)特別評議員・金城大輔、嘉陽由美子 監査役・嘉陽孝(留任)照屋寛信(6班 新任) ※敬称略  
新入学、進学おめでとう!!

### 上級生たちが 祝いの集い

今年も多くの子どもたちが、入学・進学に胸を躍らせた。公民館では高校高学年生たちが、手作りした後輩たちへの歓迎と激励の集いを催しました(4月23日II写真)

記念品の選定から当日の運営や進行まで、すべて居場所活動での先輩たちの手で行われ「早く学校生活になじんで欲しい」と一緒に楽しむ集いになりました。当日来場できなかった子どもたちにも父母や未来部役員を通して、しっかり手渡されました。



### 自販機収益金を寄付

空手指導の徳人さん

自宅近くに設置した自販機の収益金を「子どもたちの育成資金」として寄付を続けている銘苅徳人さん(6班・評議員)が、今年も継続寄付してくれました。感謝します。

### ゆくいたき〜ゆめとわがまち

久しぶりに「カーミージー私有地化」問題のその後です。この間、浦添市に質問状を提出し、回答内容の検証と再度の疑問点など提起中。市は回答の中で、字有地を「共有地」として認め「入会権」の存在も認めています。ただカーミージーについては入会権の対象が旧城間住民なのか、港川も含まれるか、浦添市民も含まれるか?今だに明確に示していない。評議員会では「カーミージーが従来通り利用できれば!」との条件で浦添市の回答を待っている。

城間字有地については、戦後混乱期の土地制度を背景に、共有地制度が大きく変質し「選別」されてきた事実もある。港川地域にある「城間字有地」のなかで①現在のビオテラス浦添地域(当時II原野 1024坪)②公民館近く(当時II原野 現在宅地 268坪)。いずれも1954年4月27日付け、字城間で所有権登記。①は62年村外在住に売却。米人向け貸し住宅地として開発②の土地は同じ城間在住で当時の地域有力者に売却。所有権移転された。

港川崎原、カーミージー隣接の土地(当時II原野 約1409坪)も54年4月30日付け、字城間で所有権登記。現在も貸し住宅地。47年土地調査台帳作成作業の当事者が健在の時代であり、カーミージーも字有地として当然認識している。他にも金秀スパー近くの土地(当時II山林 約25坪)も未登記のまま。要するに城間は「不動産価値のある土地」は登記し、価値の無い(低い)土地は登記しない一意的選別を行った、と考える。浦添市はどう判断するか?見解を待ちながら背後にある戦後土地制度の問題等を次回号以降検証する。